
うわぁ。

狭間 真琴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
うわぁ。

【Nコード】
N5574U

【作者名】
狭間 真琴

【あらすじ】
変な夢から現実へ。そして、決意。

（前書き）

注意 意味が分からない。

ここは、学校。

いつもと変わらぬ風景、平凡な無秩序な風景だ。しかし何かが変だ今日の風景には違和感がある。

なんだこの違和感は？オカシイ、何かが変だ。へんだ。ヘンダ。

そこには、不快な光景があつた。

そこには、僕がいた。

否、言い直そう。僕と全く同じ顔をした僕以外の誰かがそこには居た。

なぜ僕がそこにいる……………。

なぜ僕の席に座っている……………。

これでは、僕がニセモノみたいじゃないか。

否、僕が偽物なハズがない。

困惑と恐怖。

妄想と現実。

本物と偽物。

いろいろな感情が心のかなかに押し寄せる。

耐えられなくなった僕は、あの偽物に話しかけた。

「君は誰？そこは、僕ん席だと思っただけだ」

「えっ、ここは、俺の席だよ」

あっさり返されてしまった。

「そこは、○×■君の席だよ」

クラスメイトが話しかけてきた。

「それより君は誰」

クラスメイトが言った。

そのとき、僕は感じた。僕は本物ではなく偽物だということを。僕の存在を知るものは一人もいない、帰る場所もない、自分さえ解らない。

僕はそのまま教室を出て屋上へと向かった。

もう、どこにも行き場のない僕は屋上から身を投げるしかない。

さようなら僕。頑張れよ本物。

「ヒュウウウウウウービチャッ」

綺麗に落ちた。

「ドンッ」

ベットから落ちたようだ。

深い眠りから目が覚めた。

僕は、夢を見ていたようだ。

全く意味のわからない夢だった。僕が二人もいて、しかも僕が偽物だなんて。

はああ、ちょっとアニメの見すぎかもな。

酷い夢だった。もう見たくないな。

よし！アニメ見ないようにするか・・・・・・・・・・決意は硬かった。

（後書き）

初投稿↓意味のわからない作品↓意気消沈

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5574u/>

うわぁ。

2011年7月4日01時16分発行